

「火山がつくる地形(8)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

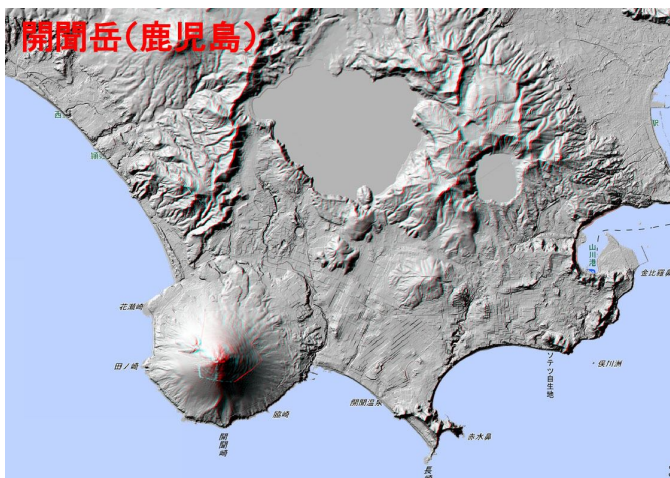
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

最初に授業をしたクラスでは、ごく簡単な記録用紙を配布した。意外だったのは、「気づいたこと」という欄に火山地形を図示する子どもが多かったことだ。特に「横から見た火山地形」を想像して、簡単な図を描く子どもが多かった。

開聞岳	他の地と比べて 開聞岳だけとても高い
阿蘇山	大きな火山以外にもいくつか あった
霧島山 (国後島)	もう1度上がっている 山頂が傾いていて くぼんでいていて いる

この子どもの記録には、10座の火山すべての欄に、火山地形を横から見た略図が描かれ、それに簡単な説明がついていた。



鹿児島県の開聞岳(薩摩富士)の説明には、「開聞岳だけとても高い」と書かれている。ほかの窪み(池田湖など)も火口なのだが、そこには気づいていない。

火山の名称 (場所)	特徴・気づいたこと	図や絵
()		
()		
()		

そこで次にクラスでは、記録用紙を改良した。左右二段組みだったのを一段組みに変更、火山の名称に加えて、場所(都道府県)も記入できるようにした。また「気づいたこと」は「特徴・気づいたこと」に変え、一番右に「図や絵」の欄を設けた。「図」と「絵」の区別は不明瞭だが、不思議なことに「絵は苦手」でも「図ならかける」という子どもは多い。要は「文では表現できないことを図示する」という欄である。

火山の名称 (場所)	特徴・気づいたこと	図や絵
箱根山 (神奈川県)	谷が流れている。 本川が流れている。	湖
霧島山 (宮崎県)	火口が3つある。 けこう広がっている。	火口 たこ
白山 (石川県)	すこどこぼこぼこして真ん中 に集まっている感じがする。	真ん中
御嶽山 (岐阜県)	火口が3つ4つある。 大ははに広がっている。	
富士山 (山梨県)	きれいに広がってて山頂の 火口がある。	
谷奈岳 (北海道)	上か2回でこぼこして いて上から下にのびて いる。(広がり)	

この記録用紙は子どもたちにも好評だった。「図を書く」という作業が加わることで、火山の地形をより詳しく観察し、実際の火山の形状を想像しようとする営みがよく見られるようになった。この子どもの場合、「火山のつくった地形には、必ず火口に相当する地形がある」ということに着目したようだ。